

コピーして使おう!

DHのフロク

患者さんのやる気を引き出し、継続してもらうために！
このコーナーではP.25『ナルホド脳科学』の内容をもとに、
現場で活用できる効果的なツールをご紹介します。

今回のポイント

プロセスを褒めると行動の維持・促進になる。

ツールNo.19

“やったよ”カード

「磨き残しが減りましたね」「歯周ポケットが浅くなりましたよ!」。
褒めることはもちろん大切ですが、
どうしてそこにたどり着いたのか患者さん自身が理解していないと
同じ結果を出し続けることができません。
そこで今回のポイントは“プロセス”を褒めること!
「これを続けていけばいいんだ」とわかるので結果につながります。

使い方

- 1 患者さんがやるべきこと
(1日1回フロスをする、ワンタフトブラシを使うなど)
を決め、記入する。
- 2 実行したら、第三者(ご両親、奥さん、旦那さんなど)に
チェック&コメントしてもらう。
- 3 次に来院されたとき、できていた部分をチェック。
しっかり褒めましょう。

ツールを使った感想を、ぜひ編集部までお寄せください!
EMAIL: tuftclub@oralcare.co.jp

<記入例>

なまえ	フユキ くらあ!					チェックしたひと	をオ子(母)
やること	1日1回フロスする						
ひづけ	できた	コメント	ひづけ	できた	コメント		
10/1	○	がんばれ!	10/8	×	↓		
10/2	○		10/9	○			
10/3	○		10/10	○	よく頑張った!		
10/4	○		10/11	○			
10/5	△	奥歯が...	10/12	○	いい感じ!		
10/6	○		10/13	○			
10/7	×	↑ 歯の痛み...	10/14	○			

子ども用

なまえ

チェックしたひと

やること

ひづけ	できた	コメント	ひづけ	できた	コメント
/			/		
/			/		
/			/		
/			/		
/			/		
/			/		
/			/		
/			/		

よくできました。

大人用

名前

チェックした人

やること

日付	達成度	コメント	日付	達成度	コメント
/			/		
/			/		
/			/		
/			/		
/			/		
/			/		
/			/		
/			/		



DHのフロクが、ダウンロードできます!

<http://oralcare.ne.jp/tuftclubstore/furoku> パソコンからダウンロードし、どんどん活用ください。